

気仙沼湾水質分析結果概要

○調査日時 令和3年8月2日

○概要

- 1) 水温：表層で23.5～25.6℃，底層で16.8～21.5℃の範囲にあった。
- 2) 塩分：表層で27.2～31.6，底層で33.3～33.9の範囲にあった。
- 3) pH：7.6～8.2の範囲にあり，St.1大浦の底層を除く全点で水産用水基準（7.8～8.4）を満たしていた。
- 4) COD：0.1未満～1.3mg/Lの範囲にあり，全点で水産用水基準（閉鎖性内湾：2mg/L以下）を満たしていた。
- 5) DO：3.6～11.0mg/Lの範囲にあり，St.1大浦（底層），St.2梶ヶ浦（底層），St.3松岩（水深10m，底層），St.5二ツ根（底層）で水産用水基準（6.0mg/L以上）を満たさなかったが，St.1大浦を除く3点では内湾漁場の夏季の水産用水基準（4.3mg/L以上）は満たしていた。
- 6) プランクトン沈殿量は1.3～6.6ml/m³の範囲にあった。
- 7) 無機栄養塩：各項目は以下の範囲内にあった。

リン酸態リン（PO₄-P）： 1.4～40.5μg/L

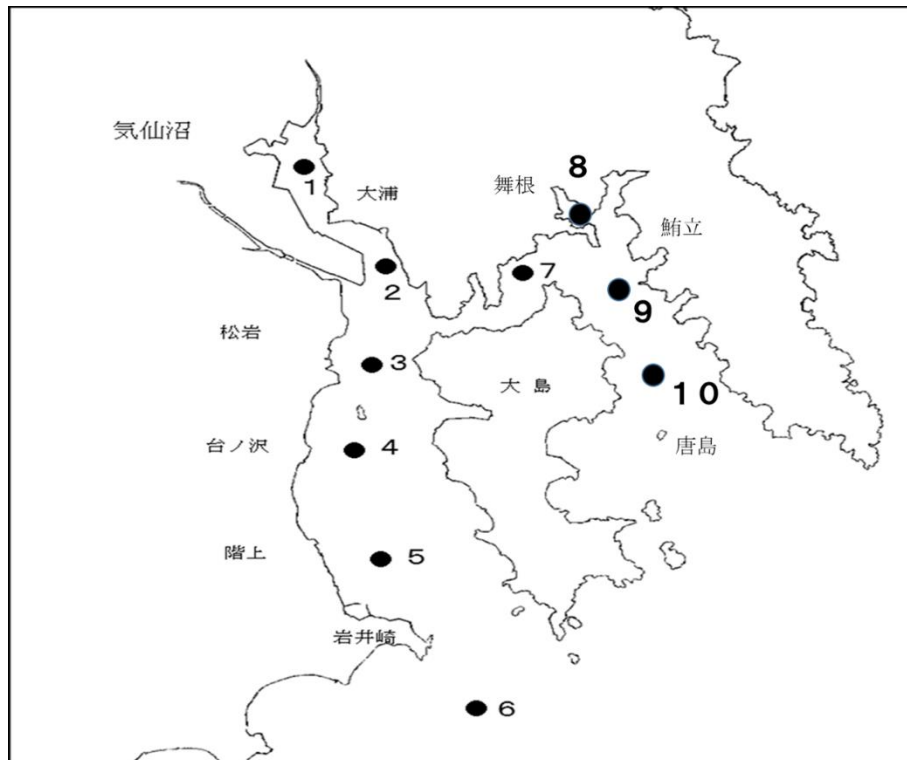
アンモニア態窒素（NH₄-N）： 0.9～79.2μg/L

亜硝酸態窒素（NO₂-N）： 0.1未満～9.4μg/L

硝酸態窒素（NO₃-N）： 0.1未満～22.1μg/L

（三態窒素※ 2.3～99.6μg/L）

※三態窒素とはアンモニア態窒素，亜硝酸態窒素，硝酸態窒素の合計です。



調査点図

